

こだま新聞

第53号

平成12年3月

旧 小松医院

八郎潟町技能組合で企画した「旧小松医院家屋見学」に同行しました。

故小松秋明先生の息子さん小松正彦氏に建物建造当時のお話を伺い、現存する旧小松医院を見学させていただきました。

大正14年に現在の土地を購入し、翌年現在の総二階建ての洋館が完成したそうです。

建築した三名の大工さんは、秋田市の洋館を見学して現在の建物を設計したそうです。水色のペンキを塗られた外



観から、当時としてはかなりお洒落な建物だったことが伺われます。玄関の二階にはバルコニーも作られていたそうですが

現在にはなくなっています。二階部分は現在も使用していますが、一階の診療室、受付、薬室、待合室、外科室などは物置となっていました。

基礎工事では、当時としては珍しい地突きをして杭を37本近く打ったそうです。秋田県沖の地震で窓枠が変形したそうですが、建物そのものはしっかりと残っていました。

現在は屋根の傷みが進み早急に補修が必要のようです。小松秋明先生は怖い先生

だったそうで、今回参加した中に当時のことを覚えている人がいて医院のそばを通るときはこわごわだったと話していました。

奥様はお琴を教えていたそうで、二階にその時の琴が飾ってありました。合唱団もあつ



て二階の襖をはずして合唱の練習もしていたそうです。

国保委員会

先月の15日に八郎潟町の国保委員会が開催されました。

社会保険から国民保険に移られる方が増加し、町税や保険料が滞る方がそういう方に多いことが報告されました。

町税や保険料は前年度の年収で決定されることを良く理解されていないことが原因ではないかと説明していただきました。

町の方でも、そういう事情を知っているならば、窓口で事務的な手続きをするだけでな

く今後の納税や保険料について説明してあげるサービスがあっても良いのではないかと思います。

国保の収支については癌などの高額医療費のことだけが話題になっていました。

町民の健康を考えた対策、インフルエンザや虫歯などについて、討議されるようになってきたかと思っています。

公民館まつり

2月27日、改善センターで秋田市から飯塚喜市氏を招き講演会が行われました。

平成4年に全県にわたる民俗芸能の調査保存が行われ、ここ八郎潟町にも調査に訪れている。一日市盆踊りや願人踊りもこの時に調査している。

以前、県の指導で民俗芸能を16mmフィルムに映像を残す事業を行っているが、この時も飯塚氏が参加していた。

八郎潟町史や八郎潟小唄



などにも助言しており様々な形でこの町と繋がりを持っている人です。

春夏秋冬に分けて祭りとい

うものを説明していただいた。残念ながら私は中座したため春の部分しか聞くことが出来なかったが、春の祭りを一言で説明すると「予祝・よしゅく」ということになるそうだ。

本荘新山神社を始めとする裸詣り、一日市神社の裸参り、梵天奉納、なまはげなどの春の祭りの意味を「予祝」で説明していた。

今月の終了証

次の皆さんに修了証をお渡しすることができました。

佐々木良太 さん

近藤 天 さん

小玉 久美子さん

谷村 雄一 さん

桜庭 海人 さん

兵藤 尚子 さん

今月の予定

三月

4日 休診

4日 福祿寿 利き酒会

5日 救急診療

5日 介護保険講習会

16日 幼稚園卒園式

19日 近代口腔科学研究会

20日 近代口腔科学研究会